

28健3388号

28日公衛福支第18号

平成28年8月8日

関係各位

福島県保健福祉部長

(公印省略)

日本公衆衛生協会福島県支部長

(公印省略)

平成28年度福島県保健衛生学会の開催について(通知)

このことについて、別紙プログラムにより開催することとなりましたので、多数御参加
いただきますようお願いいたします。

(事務担当 事務局 渋谷 健康増進課 主査 佐野 電話 024-521-7237 内線 2742)

平成28年度福島県保健衛生学会(第45回)プログラム

第69回福島県公衆衛生学会・第55回福島県母性衛生学会

第54回福島県小児保健学会

【主催】 福島県・日本公衆衛生協会福島県支部

【日時】 平成28年9月2日(金)

【場所】 とうほう・みんなの文化センター(福島県文化センター)

第一会場:会議室兼展示室(2階) 第二会場:視聴覚室(1階)

【代表世話人】 福島 哲仁 氏

(公立大学法人福島県立医科大学医学部衛生学・予防医学講座教授)

【日程】

9:15～ 受付

◎第一会場◎

9:45～11:45 一般口演(1番～6番、13番～18番)

11:45～12:45 (休憩)

12:45～13:15 平成28年度福島県保健衛生学会総会

○主催者挨拶

○表彰式

- ・公衆衛生学術賞 金安 美菜子(伊達市健康福祉部健康推進課)
- ・財団法人病院協会賞 青木 貴代(いわき市子育てサポートセンター)
- ・公衆衛生奨励賞 上杉 慶子(郡山市保健所)
- 松田 みのり(福島市保健福祉センター)

○記念講演 金安 美菜子

「元氣アップ復興隊」地域の取り組み

～伊達市放射能健康管理対策 心と体のケア事業～

13:15～13:25 (会場設営)

13:25～14:25 シンポジウム

「地域医療計画激動下で福島県の地域包括ケアを考える」

座長 公益社団法人福島県看護協会

会長 高橋 京子 氏

公立大学法人福島県立医科大学医学部衛生学・予防医学講座

教授 福島 哲仁 氏

シンポジスト 「福島県の健康づくりの推進と地域包括ケア」

福島県保健福祉部健康増進課

課長 和田 正孝 氏

「患者・住民の視点から見た地域医療計画と地域包括ケア」

福島県医療ソーシャルワーカー協会

会長 本田 ルミ子 氏

「地域医療計画と医療の現場の実情・展望」

一般財団法人太田総合病院附属太田熱海病院
病院長 太田 宏 氏

「地域包括ケアの実践と展望」

郡山市保健福祉部地域包括ケア推進課
主任主査兼基幹包括支援係長 橋本 克枝 氏

14:25～14:35 (会場設営)

14:35～15:25 特別講演

「笑いを生かした健康づくり ～笑ってストレス解消！生活習慣病予防！～」

講師 公立大学法人福島県立医科大学医学部疫学講座

教授 大平 哲也 氏

座長 公立大学法人福島県立医科大学医学部衛生学・予防医学講座

教授 福島 哲仁 氏

15:25～15:40 (休憩)

15:40～16:30 震災口演 (25番～29番)

◎第二会場◎

9:45～11:45 一般口演 (7番～12番、19番～24番)

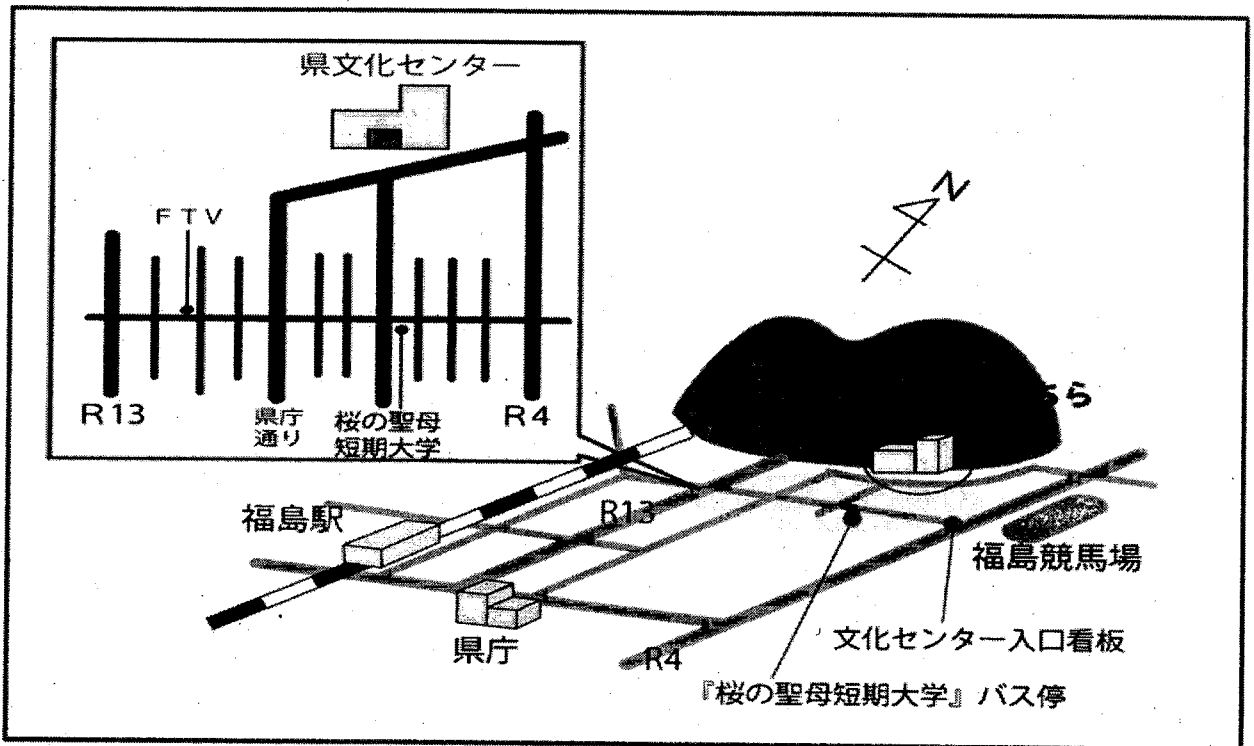
15:40～16:40 一般口演 (30番～35番)

会場案内

とうほう・みんなの文化センター（福島県文化センター）

所在地：福島県福島市春日町5-54

電話：024-534-9191



●福島駅からのバス利用

東口バス乗り場（9番）より市内循環バス（1・2コース）に乗車、『桜の聖母短期大学』停留所下車。徒歩10分。（運賃100円、本数は1時間に6～10本、乗車時間15分程度）

●高速道からのご案内

飯坂インターチェンジから：国道13号線で福島市街地に向かい信夫山トンネルを出て、2つ目の信号を左折、7つ目の信号を左折してつきあたり。（距離5.5km 所要時間約15分）

福島西インターチェンジから：国道115号線で福島市街地に向かい、国道4号線を左折して仙台方面に北上、旭町交差点を左折して3つ目の信号を右折してつきあたり。（距離8km 所要時間約30分）

●駐車場 約450台

お知らせ

1 一般口演・震災口演の発表者について

(1) 発表開始時間の30分前には来場の上、受付を済ませてください。

(2) 口演の発表時間は、一題につき、口演7分、質疑応答3分の合計10分です。
時間厳守をお願いいたします。

(3) 次の発表者は、それぞれ指定の席でお待ちください。

2 受付について

2階会議室兼展示室（第一会場）で行います。

3 資料代について

参加者（一般口演・震災口演者含む）には、資料代（1,000円）をご負担いただきます。資料代の請求については、学会終了後に請求書を送付しますので、指定口座まで振込をお願いします。

参加を希望される場合は、別紙「参加申込書」に記入の上、平成28年8月23日（火）までにFAXまたはメール(kenkou@pref.fukushima.lg.jp)にて報告願います。

4 昼食について

各自準備願います。

午前の部

第一会場:会議室兼展示室(一般口演①)

9:45 - 10:45

座長 後藤 あや

福島県立医科大学総合科学教育研究センター自然科学系領域 教授

- | | | | |
|-----|---|--------|---------------------------|
| 1-1 | 福島市における「こんにちは赤ちゃん事業」事業評価：平成25年と27年の比較 | 佐藤 晴香 | 福島市健康福祉部 健康推進課 |
| 1-2 | 小児疫学調査における静脈血採血実施状況
～福島県における「子どもの健康と環境に関する全国調査(エコチル調査)」詳細調査から～ | 佐藤 晶子 | 福島県立医科大学 エコチル調査福島ユニットセンター |
| 1-3 | 慢性疾病児童の母親による自主グループへの支援 | 山田 恭子 | 福島県相双保健福祉事務所 |
| 1-4 | 子どもとその保護者の食習慣と生活習慣に関する実態調査
～相双地区の保護者の精神的健康度と子どもへの影響 | 大滝 美雪 | 福島県相双保健福祉事務所 |
| 1-5 | 職場の健康づくりへの取組に関する調査結果
～東日本大震災4年後の相馬地域の状況～ | 野内 菜美子 | 福島県相双保健福祉事務所 |
| 1-6 | いわきっ子健やか訪問時のエジンバラ産後うつ病質問票を使っ
ての支援について | 神永 佳恵 | いわき市内郷・好間・三和地区保健福祉センター |

第二会場:視聴覚室(一般口演②)

9:45 - 10:45

座長 阿部 孝一

郡山市保健所 所長

- | | | | |
|------|--|---------|------------------|
| 2-7 | 減塩を目的とした健康マイレージ事業の取り組み | 武藤 和也 | 公益財団法人 郡山市健康振興財団 |
| 2-8 | 県中管内の特定給食施設等の給食提供料理における塩分測定実
態把握からの一考察 | 五十嵐 佳代子 | 福島県県中保健福祉事務所 |
| 2-9 | 住居運営の通いの場での健康体操実施に伴う運動機能と生活行
為の困難感の変化について | 二瓶 健司 | 福島県理学療法士会県中支部 |
| 2-10 | スポーツにおける鍼灸の受療について | 関根 美智 | 一般社団法人 福島県鍼灸師会 |
| 2-11 | 地域診断からみえた棚倉町の健康課題 | 芳賀 礼佳 | 棚倉町健康福祉課 |
| 2-12 | 生活保護受給者の健康診査に関するアンケートから支援の在り
方について考える | 飯塚 てい子 | 平地区保健福祉センター |

第一会場:会議室兼展示室(一般口演③)

10:45 - 11:45

座長 高瀬 佳苗

福島県立医科大学看護学部地域・在宅看護学部門 教授

- | | | | |
|------|---|--------|-----------------------------|
| 1-13 | 南相馬市における新任期保健師の取り組み
～地区把握から事業展開を考えて～ | 山本 結実子 | 南相馬市健康福祉部 健康づくり課 |
| 1-14 | 地域診断研修の取り組み
～県南地域市町村保健師・栄養士現任教育支援事業から～ | 濱尾 喜美子 | 福島県県南保健福祉事務所 |
| 1-15 | 西郷村の要介護認定者が要介護状態に至る健康課題 | 山本 唯香 | 西郷村健康推進課 |
| 1-16 | 軽度要介護認定者の要介護状態悪化の要因 | 赤沼 純子 | 郡山市保健福祉部 地域包括ケア推進課 |
| 1-17 | 地域包括ケアシステム構築における県北保健福祉事務所と市町
村との協同について | 菅野 誠 | 福島県県北保健福祉事務所
健康福祉部 保健福祉課 |
| 1-18 | 働き盛り世代をターゲットとした自殺対策事業の取り組みにつ
いて | 伊藤 真衣 | 福島県県南保健福祉事務所 |

第二会場:視聴覚室(一般口演④)

10:45 - 11:45

座長 笹原 賢司

福島県県南保健福祉事務所 所長

- | | | | |
|------|---|--------|---------------------------|
| 2-19 | 福島県における近年の性感染症の発生動向 | 塚田 敬子 | 福島県衛生研究所 総務企画課(感染症情報センター) |
| 2-20 | 県北管内病院でのインフルエンザ集団発生事例について | 佐藤 真理 | 福島県県北保健福祉事務所 |
| 2-21 | ハイリスクアプローチによる幼児う蝕予防対策の一考察
～フォローアップ事業からみえた課題と今後の対策について～ | 根本 亜希子 | 福島県県中保健福祉事務所 |
| 2-22 | 会津坂下町におけるフッ化物歯面塗布を用いた乳歯う蝕予防事
業の成果 | 小瀧 節子 | 会津坂下町 生活課 福祉健康班 健康増進係 |

- 2-23 県南地域における3歳児う蝕の地域格差の現状・課題について 後藤 優子 福島県県南保健福祉事務所
- 2-24 RCFの規制実施を前にした当協会の取り組みについて 佐藤 政浩 公益財団法人
福島県保健衛生協会

午後の部

第一会場:会議室兼展示室(震災口演①)

15:40 - 16:30

座長 大平 哲也

福島県立医科大学医学部救急学講座 教授

- 1-25 原子力発電所事故により全域が避難区域に指定された市町村の自殺死亡率の推移 大類 真嗣 福島県立医科大学医学部 公衆衛生学講座
- 1-26 子どもの発達障がいへの受入れに向けた母親への支援
～原発事故による避難中の事例から～ 渡部 聖子 福島県相双保健福祉事務所いわき出張所
- 1-27 飯舘村の高齢者への心理的影響と関連要因の検討
～震災後4年間の追跡研究～ 黒田 佑次郎 福島県立医科大学医学部 公衆衛生学講座兼
飯舘村健康福祉課
- 1-28 飯舘村の精神保健の取り組み
～多機関多職種連携によるこころの健康支援～ 八代 千賀子 飯舘村役場
健康福祉課
- 1-29 福島県における特定健診結果と震災後の現状について(第2報) 桐生理江 公益財団法人
福島県保健衛生協会

第二会場:視聴覚室(一般口演⑤)

15:40 - 16:40

座長 遠藤 幸男

福島県県北保健福祉事務所 事務所長

- 2-30 健診時の血液検査で見つかったパニック値の現状とその対応 西内 祐也 公益財団法人
福島県保健衛生協会
- 2-31 尿中微量アルブミン検査の集団検診への導入の試み 長澤 真里 公益財団法人
福島県保健衛生協会
- 2-32 硫酸バリウムの排便改善への試み 半澤 俊和 公益財団法人
福島県保健衛生協会
- 2-33 デジタルマンモグラフィ装置導入に伴う読影システム構築とその効果について 松井 志穂 公益財団法人
福島県保健衛生協会
- 2-34 使おう!!20歳の受診券
～福島県子宮頸がん検診における若齢者の受診状況から～ 羽野 健汰 公益財団法人
福島県保健衛生協会
- 2-35 県北地域事業所におけるがん検診の実施状況について 沼田 志穂 福島県県北保健福祉事務所 健康福祉部 健康増進課

